

銀行名	北都銀行
タイトル	銀行融資および補助金とクラウドファンディングによる資金調達
取組み内容	平成 26 年 4 月、川反芸者復活をめざし「あきた舞妓」の育成・派遣会社として「(株)せん」が設立された。また、物件である旧：割烹松下は、平成 26 年 10 月より開催された「国民文化祭・あきた 2014」において、アートプロジェクトで活用されるなど注目を浴びていたこともあり、古風で趣のあるイメージをそのまま活用したいとの思いから、松下事業の構想開始。 秋田市千秋公園内に佇む「旧割烹松下」を再活用し、この建物の伝統的な建築技法や使用されている材木の長所、そして「割烹松下」としての気品と空気感を残し、様々な分野の活動拠点として利用するためのリノベーションを実施。これより千秋公園内に新たな観光コミュニティを創出し、秋田の文化に触れることのできる複合施設として機能させることが本事業の目的。 当行の主たる役割は融資による資金供給だが、秋田市を窓口とする総務省の地域経済循環創造事業交付金における地元金融機関としての協調も担う。 また、資金計画の一部としてクラウドファンディングによる資金調達を提案および提供者紹介。 クラウドファンディングによる資金調達にも成功し、4 月 17 日にオープン（営業開始）。

銀行名	北都銀行
タイトル	日本製紙ウェンティ風力株式会社に対するプロジェクトファイナンス
取組み内容	秋田県内には 140 基以上の風力発電所があるが、その殆どが大手商社などの資本が独占しており、地域資源から創出される経済効果は県外に流出している状況。 平成 24 年の FIT 制度開始より、地元企業も風力発電事業に取り組み易い状況となり、平成 24 年 9 月に地元企業とともに風力発電会社「ウェンティ・ジャパン」を設立。日本海側の優れた風資源を活用し発電施設の開発や運営、保守・管理等の関連付随事業を展開する計画。 前述の幣行パートナー企業である(株)ウェンティ・ジャパンと日本製紙(株)の 2 社がスポンサーとして SPC「日本製紙ウェンティ風力(株)」を設立。 秋田県秋田市向浜地区の日本製紙秋田工場隣地に 2,500kW 級の風車を 3 基設置する計画で、上記の SPC とプロジェクトファイナンス契約を締結。